

# クリーニング店だからいそいそできる

## 素早く・小さく・段取り重視で

### 毛布集め被災地へ 長野県組合青年部

「クリーニング店だから、なにができるのか?」  
「できること」震災という事。地域内の衛生  
発生当初から、全国のク管理を担う業種だけに、  
クリーニング店経営者が頭 各地で議論が巻き起こっ  
を悩ませているのが、私 ている。



合計400枚以上集まった

長野県クリーニング生 活衛生同業組合青年部 (山崎誠部会長) では、  
お客様から提供いただいた毛布を無料でクリーニングして被災地へ送ろう! という動きを急ピッチでまとめ、大量の毛布の獲得・救援物資としての支援に成功した。

この発案は、同副部会長の小池正樹さん(長野市、ファッションケアー明和)。「朝、NHKのニュースを見ていたら長

野県で毛布を受け付けていることを知り、県へ問い合わせるとクリーニングしたものでOKというところ。加えて、集めた毛布の運び先は、県内各地にある地方事務所でも受付している点などを

総合的に考慮して、青年部で行うことを決断し、合わせるとクリーニングしたものでOKというところ。加えて、集めた毛布の運び先は、県内各地にある地方事務所でも受付している点などを

た活動は、青年部などの十数店舗の小さな活動にしなければいけない。全組合員への周知には時間がかかり過ぎ、徹底は困難。小さな枠組みだから、小池さんは「こいつこそ意思統一に時間はか

からない。万一、集まり過ぎた場合の対応策も容易に行える」と考え、すぐにポスターを作成し活動を開始した。青年部の中でも多店舗展開している事業者1社は、影響力の大きさから今回の活動からあえて外しているという。

加えて「マスメディアなどへの露出は、極力避けること」も強調。集まり過ぎに加えて、消費者などへの混乱も招く上、中には使い古したゴミ同

然のものを持ってくる人もいる。また、集まり過ぎた場合の処理のパンクについて、青年部の中にリネン関連を手掛ける大型水洗機や乾燥機を持つ事業者の確保が出来てきたの、最悪の場合でも何と対応できるというバックアップ体制を確保して

いた。そして、締め切りになった時のポスターなども事前に用意していた。「阪神淡路大震災を経験した友人から『まずは物の支援、その次にお金の支援』の大切さを知った。習うより慣れるーの感覚で、勢いで行動してみた結果です」と話すも、段取り

と計画は見事であった。青年部の活動から数日後、同県組合でも同様の活動を始めたが、直後に予定枚数に達し、県での受付は終了。支援の動きは、素早く・小さく・段取り重視で行わなければいけない。貴重な成功事例と、考えるべき教訓を残してくれた。



小池正樹氏

## 建基法対応で県と太いパイプ

### 群馬県組合では衣類を 行政も大歓迎!

群馬県クリーニング生 活衛生同業組合(根岸睦男理事長)は、全県連ではその対応を見送った『利用者からの衣類等を集めてクリーニング後に県下の避難所または施設

に贈る試み』を先行し成功。写真にあるポスターに掲げている店舗だけの取り扱いとして、衣類を集めクリーニングし、第一便として2000点の衣類を東北方面へトラック

クで発送した。他県から群馬県へ避難してきた被災者へは、来月初旬にも衣類が届けられる予定だという。

今回の震災は、地震による被害に加え津波で家屋が流されてしまい避難所生活を余儀なくされている方が多く、津波の恐怖から着の身着のまま避難してきた人が大変多い。

ゆえに、衣類を扱うクリーニング業者として支援できることは何かを考えた時「クリーニングした心地良い衣類を届けよう」と、組合員やその家族を集め始めた。

新品でなければ受け付けてくれないなど、行政との密接な連携が不可欠な活動であるが、群馬県では建築基準法の対応で県と太いパイプができており、県の食品衛生課から「是非!協力をお願いします。クリーニング済みのものでしたら、大歓迎です!」との連絡があったという。

衣類の支援は一時的なものではなく、長期的なものと考えているので、冬物・夏物は問わない。そして、収集はとりあえず支部長宅まで、として

**防虫** **防カビ** **防湿** **防臭**

防虫・防カビ剤「ミルモス」でおなじみのトキワは安心と信頼をお届けします。(防カビ加工着上下1着6円60銭)

●お問い合わせは全国機械商まで

**常盤産業** (66)1001 本社 社  
(42)8538 第一工場  
(53)3335 第二工場

〒228-0828 神奈川県相模原市麻溝台7-15-2

PRAY FOR TOUHOHU

クリーニングして お届けしたいので

お客様へ

お預りできる衣類の 収集にご協力ください。

群馬県クリーニング組合

群馬県クリーニング生 活衛生同業組合(根岸睦男理事長)は、全県連ではその対応を見送った『利用者からの衣類等を集めてクリーニング後に県下の避難所または施設

に贈る試み』を先行し成功。写真にあるポスターに掲げている店舗だけの取り扱いとして、衣類を集めクリーニングし、第一便として2000点の衣類を東北方面へトラック

クで発送した。他県から群馬県へ避難してきた被災者へは、来月初旬にも衣類が届けられる予定だという。

今回の震災は、地震による被害に加え津波で家屋が流されてしまい避難所生活を余儀なくされている方が多く、津波の恐怖から着の身着のまま避難してきた人が大変多い。

ゆえに、衣類を扱うクリーニング業者として支援できることは何かを考えた時「クリーニングした心地良い衣類を届けよう」と、組合員やその家族を集め始めた。

新品でなければ受け付けてくれないなど、行政との密接な連携が不可欠な活動であるが、群馬県では建築基準法の対応で県と太いパイプができており、県の食品衛生課から「是非!協力をお願いします。クリーニング済みのものでしたら、大歓迎です!」との連絡があったという。

衣類の支援は一時的なものではなく、長期的なものと考えているので、冬物・夏物は問わない。そして、収集はとりあえず支部長宅まで、として

## 原発でトラブル続出 ク店も対応に困惑

今回の地震では、地震(原文の「被爆」を本紙翌日から福島第一原発に「被曝(ひばく)」において次々とトラブルが修正しました。

東京電力株式会社福島第一原子力発電所で発生した事故に際し、3月15日11時現在半径20kmの住

今回の地震では、地震(原文の「被爆」を本紙翌日から福島第一原発に「被曝(ひばく)」において次々とトラブルが修正しました。

今回の地震では、地震(原文の「被爆」を本紙翌日から福島第一原発に「被曝(ひばく)」において次々とトラブルが修正しました。

今回の地震では、地震(原文の「被爆」を本紙翌日から福島第一原発に「被曝(ひばく)」において次々とトラブルが修正しました。

今回の地震では、地震(原文の「被爆」を本紙翌日から福島第一原発に「被曝(ひばく)」において次々とトラブルが修正しました。

今回の地震では、地震(原文の「被爆」を本紙翌日から福島第一原発に「被曝(ひばく)」において次々とトラブルが修正しました。

今回の地震では、地震(原文の「被爆」を本紙翌日から福島第一原発に「被曝(ひばく)」において次々とトラブルが修正しました。

今回の地震では、地震(原文の「被爆」を本紙翌日から福島第一原発に「被曝(ひばく)」において次々とトラブルが修正しました。

今回の地震では、地震(原文の「被爆」を本紙翌日から福島第一原発に「被曝(ひばく)」において次々とトラブルが修正しました。

## 核汚染物質とクリーニング

今回、東電・福島第一原子炉で問題となっているのは総称・核燃料物質①「核原料物質」、②「核分裂生成物」、③「核燃料物質」に汚染された物質②の②及び③に当たります。現在飛散しているのはヨウ素とセシウムで、ヨウ素は半減期が30年、消滅まで2000年程かかります。注意しなければならぬのは、放射線と放射線物質の違いです。いま問題となっているのは汚染物質で、皮膚などに付着すれば「外部被ばく」、

今回、東電・福島第一原子炉で問題となっているのは総称・核燃料物質①「核原料物質」、②「核分裂生成物」、③「核燃料物質」に汚染された物質②の②及び③に当たります。現在飛散しているのはヨウ素とセシウムで、ヨウ素は半減期が30年、消滅まで2000年程かかります。注意しなければならぬのは、放射線と放射線物質の違いです。いま問題となっているのは汚染物質で、皮膚などに付着すれば「外部被ばく」、

今回、東電・福島第一原子炉で問題となっているのは総称・核燃料物質①「核原料物質」、②「核分裂生成物」、③「核燃料物質」に汚染された物質②の②及び③に当たります。現在飛散しているのはヨウ素とセシウムで、ヨウ素は半減期が30年、消滅まで2000年程かかります。注意しなければならぬのは、放射線と放射線物質の違いです。いま問題となっているのは汚染物質で、皮膚などに付着すれば「外部被ばく」、

今回、東電・福島第一原子炉で問題となっているのは総称・核燃料物質①「核原料物質」、②「核分裂生成物」、③「核燃料物質」に汚染された物質②の②及び③に当たります。現在飛散しているのはヨウ素とセシウムで、ヨウ素は半減期が30年、消滅まで2000年程かかります。注意しなければならぬのは、放射線と放射線物質の違いです。いま問題となっているのは汚染物質で、皮膚などに付着すれば「外部被ばく」、

今回、東電・福島第一原子炉で問題となっているのは総称・核燃料物質①「核原料物質」、②「核分裂生成物」、③「核燃料物質」に汚染された物質②の②及び③に当たります。現在飛散しているのはヨウ素とセシウムで、ヨウ素は半減期が30年、消滅まで2000年程かかります。注意しなければならぬのは、放射線と放射線物質の違いです。いま問題となっているのは汚染物質で、皮膚などに付着すれば「外部被ばく」、

今回、東電・福島第一原子炉で問題となっているのは総称・核燃料物質①「核原料物質」、②「核分裂生成物」、③「核燃料物質」に汚染された物質②の②及び③に当たります。現在飛散しているのはヨウ素とセシウムで、ヨウ素は半減期が30年、消滅まで2000年程かかります。注意しなければならぬのは、放射線と放射線物質の違いです。いま問題となっているのは汚染物質で、皮膚などに付着すれば「外部被ばく」、

今回、東電・福島第一原子炉で問題となっているのは総称・核燃料物質①「核原料物質」、②「核分裂生成物」、③「核燃料物質」に汚染された物質②の②及び③に当たります。現在飛散しているのはヨウ素とセシウムで、ヨウ素は半減期が30年、消滅まで2000年程かかります。注意しなければならぬのは、放射線と放射線物質の違いです。いま問題となっているのは汚染物質で、皮膚などに付着すれば「外部被ばく」、

今回、東電・福島第一原子炉で問題となっているのは総称・核燃料物質①「核原料物質」、②「核分裂生成物」、③「核燃料物質」に汚染された物質②の②及び③に当たります。現在飛散しているのはヨウ素とセシウムで、ヨウ素は半減期が30年、消滅まで2000年程かかります。注意しなければならぬのは、放射線と放射線物質の違いです。いま問題となっているのは汚染物質で、皮膚などに付着すれば「外部被ばく」、

今回、東電・福島第一原子炉で問題となっているのは総称・核燃料物質①「核原料物質」、②「核分裂生成物」、③「核燃料物質」に汚染された物質②の②及び③に当たります。現在飛散しているのはヨウ素とセシウムで、ヨウ素は半減期が30年、消滅まで2000年程かかります。注意しなければならぬのは、放射線と放射線物質の違いです。いま問題となっているのは汚染物質で、皮膚などに付着すれば「外部被ばく」、

今回、東電・福島第一原子炉で問題となっているのは総称・核燃料物質①「核原料物質」、②「核分裂生成物」、③「核燃料物質」に汚染された物質②の②及び③に当たります。現在飛散しているのはヨウ素とセシウムで、ヨウ素は半減期が30年、消滅まで2000年程かかります。注意しなければならぬのは、放射線と放射線物質の違いです。いま問題となっているのは汚染物質で、皮膚などに付着すれば「外部被ばく」、

**中古機械 販売買取**

常時 400台 在庫

TEL.093-582-1112

ヤブサメ

www.yabusame-net.com/

今回の地震では、地震(原文の「被爆」を本紙翌日から福島第一原発に「被曝(ひばく)」において次々とトラブルが修正しました。